

分野	専門分野	科目名 単位(時間)	成人・老年看護学概論 1単位(30時間)	授業 形態	講義	開講 時期	1年 前期
講師名 所属	剣持 葉子 嬉野医療センター附属看護学校 専任教員 実務経験：看護師14年 久原 佳身 嬉野医療センター附属看護学校 専任教員 実務経験：看護師10年						
授業概要	<p>成人看護学では、身体的・精神的・社会的・性的に成熟し、社会の一員として中心的な役割を担い責任を担う立場にあり、多様な場で生活するあらゆる健康レベルにある人びとを対象としている。老年看護学では、社会の変遷の中で生き抜き、人生の完結を迎えていく段階の人びとを対象としている。平均寿命100歳といわれる今日のライフサイクルでは、成人期から老年期にわたる時期は長く、社会背景と個別的な価値観に基づく生活者としての生活が連続し、その人の健康レベルや生活状況に影響している。また、成人期から老年期の移行については明確な区切りがなく、極めて個別的である。そのため、看護の対象を「子ども」「大人」の区分を基本に大人になる段階から人生の完結を迎える対象ととらえ、成人期から老年期のライフサイクルにおける成長・発達の特徴を学ぶ。また、大人の健康問題は、長い経過の中で複雑性や多様性を増し、多様な主観的健康観をうみだしている。その人にとって最適な健康を保持・促進させるための看護援助に活用できる理論や、地域の人々や他の専門職と連携・協働しながら住み慣れた場と治療の場を橋渡しする看護の役割を学ぶ。</p> <p>母性看護学概論や精神看護学概論と並行して学ぶことでライフサイクルにおける性や心の発達の観点から人間理解を深めることができる。</p>						
科目目標	1. 成人期・老年期にある対象を身体的・精神的・社会的側面から理解できる 2. 成人期・老年期にある対象にとって最適な健康を保持・促進させるための看護に活用できる理論を理解できる 3. 成人期・老年期にある対象の療養の場の移行支援を理解できる						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分分野 成人看護学 [1] 成人看護学総論 医学書院 2. 中範囲理論入門—事例を通してやさしく学ぶ 日総研 3. 系統看護学講座専門分分野 老年看護学 医学書院 4. 系統看護学講座専門分分野 老年看護病態・疾患論 医学書院						
参考文献	1. 成人看護学 成人看護学概論 南江堂 2. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 3. 改訂第3版老年医学テキスト 社団法人日本老年医学会 4. 高齢社会白書 内閣府 5. 最新老年看護学 日本看護協会出版会						
評価方法	詳細は別紙「評価計画」参照						
	筆記	○	レポート		口頭試問		授業態度・出席状況
学修に向けたメッセージ	この科目で学ぶ看護の対象は皆さん自身や皆さんのご両親やご祖父さまやご祖母さまです。自分や周囲の人の状況をイメージしながら考えると理解が深まると思います。						
授業計画							

回数	講義内容	教授・学習方法	担当講師
1	1. 成人期にある対象の理解	講義	専任教員 劔持 葉子
2	2. 成人への看護アプローチの基本 1) 生活の中で健康行動を生み、育む援助 2) 健康問題をもつ大人と看護師の人間関係 3) チームアプローチ	講義	
3	3. 老年期にある対象の理解 1) 老いるということ (1) 加齢と老化	講義	専任教員 久原 佳身
4	(2) 加齢に伴う身体的側面、心理的側面、 社会的側面の変化 2) 老いを生きるということ		
5	(1) 高齢者とは (2) 発達と成熟 3) 高齢者の生活		
6	4. 老年看護のなりたち 1) 老年看護のなりたち 2) 老年看護の役割	講義	
7	5. 成人・老年看護に有用な概念の理解 1) ストレスと危機	講義	専任教員 劔持 葉子
8	2) セルフケア 3) エンパワメント		
9	4) 自己効力 5) 行動変容ステージモデル		
10	5. 成人・老年看護に有用な概念の理解 6) サクセスフルエイジング 7) コンフォート理論 8) ストレングスモデル	講義	専任教員 久原 佳身
11	6. 看護実践における倫理的判断 1) 医療の場における倫理的課題 2) 倫理的判断の基盤となるもの 3) 倫理的課題へのアプローチ	講義	
12	7. 意思決定支援 1) 意思決定とは 2) 意思決定のプロセス 3) 意思決定プロセスにおける看護師の役割	講義	専任教員 劔持 葉子
13	8. 家族支援	講義	
14	9. 療養の場の移行支援 1) 医療制度改革と療養の変化	講義	

	2) 退院支援の基本的な考え方		
15	9. 療養の場の移行支援 3) 高齢者を支える他職種・多職種連携と看護活動の多様化	講義	専任教員 久原 佳身
	終講試験	試験（評価）	単位認定者 劔持 葉子

分野	専門分野	科目名 単位（時間）	成人・老年看護学保健論 1単位（30時間）	授業 形態	講義 演習	開講 時期	1年 前期
講師名 所属	藤島 法仁 長崎短期大学地域共生学科 教授 院内講師 嬉野医療センター 歯科衛生士 池田 貴子 嬉野医療センター 認知症看護認定看護師 久原 佳身 嬉野医療センター附属看護学校 専任教員 実務経験：看護師10年						
授業概要	成人・老年を取り巻く社会環境と生活の状況について保健統計や保健対策の変遷などから社会の動向や将来像をイメージしながら広く理解する。成人期・老年期にある人びとを取り巻く保健・医療・福祉システムの動向を理解し、健康レベル(健康の保持・増進及び疾病の予防)について学ぶ。具体的には政策に基づき地域で実施されている成人期・老年期にある対象の健康の保持・増進活動について学ぶ。地域で実施される公衆衛生や健康の保持・増進、疾病の予防のための保健活動の実際は地域保健論で学ぶ。						
科目目標	1. 社会構造の変化・超高齢社会に伴う保健・医療・福祉の場における課題が理解できる 2. 保健活動の意義を理解し、健康の保持・増進活動について理解できる						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [1] 成人看護学総論 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院						
参考文献	1. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 2. 令和2年度版高齢社会白書 内閣府 3. 最新老年看護学 日本看護協会出版会						
評価方法	詳細は別紙「評価計画」参照 筆記 ○ レポート 口頭試問 授業態度・出席状況						
学修に向けたメッセージ	成人期・老年期に生じる健康問題は時代や社会背景が生活習慣に影響することで変化してきた。なぜ健康問題が生じてきたのか、今後どのように変化していくのかについて国民衛生の動向を分析し考えてほしい。健康の保持・増進や疾病の予防のための活動はCMなどでの呼びかけや地域のホームページなど私たちの日常生活の中に入り込んでいることが多い。テキストだけでなく、市のホームページなどを参考にして講義と実際を関連させながら学んでほしい。						
授業計画							
回数	講義内容			教授・学習方法		担当講師	
1	1. 成人・老年を取り巻く環境と生活の状況 1) 成人・老年を取り巻く環境 2) ライフスタイルの特徴 3) 超高齢社会の現状			講義		専任教員 久原 佳身	
2	2. 成人・老年における健康のとらえ方と健康支援の活動			講義・演習		専任教員 久原 佳身	
3	1) 成人・老年の健康の状況 2) 成人・老年の健康問題とその予防			グループワーク			
4	3. 生活と健康をまもりはぐくむシステム			講義		長崎短期大学	

	1) 高齢社会における保健・医療・福祉システムの動向		教授 藤島 法仁
5	3. 生活と健康をまもりはぐくむシステム 2) 保健・医療・福祉システムの連携	講義	長崎短期大学 教授 藤島 法仁
6	4. 高齢社会における権利擁護 1) 高齢者差別 2) 高齢者虐待 3) 身体拘束	講義	長崎短期大学 教授 藤島 法仁
7	5. 成人のヘルスプロモーション 1) ヘルスプロモーションと看護 2) ヘルスプロモーションを促進する看護の場と活動	講義	専任教員 久原 佳身
8	6. 高齢者のヘルスプロモーション 1) 老年期のヘルスプロモーション 2) 介護予防とヘルスプロモーション	講義	専任教員 久原 佳身
9	7. 高齢者を取り巻く保健医療福祉施設 1) 療養生活を支える保健医療福祉施設の特徴と看護 2) 高齢者の居宅サービスにおける看護	講義	専任教員 久原 佳身
10	8. 保健医療福祉施設に入所している高齢者の理解 1) 生活の場としての環境のあり方 2) 施設の特徴に応じた支援活動	講義	専任教員 久原 佳身
11	9. 高齢者の生活機能を整える援助 1) フレイルの予防 (1) 運動機能向上、サルコペニア予防、PEM 予防	講義・演習	専任教員 久原 佳身
12	9. 高齢者の生活機能を整える援助 2) 口腔機能と栄養状態の改善	講義	歯科衛生士
13	10. 認知機能低下の予防 1) 認知機能および生活機能の評価 2) 認知症の病態・診断・治療と予防	講義	認知症看護認定看護師 池田 貴子
14	10. 認知機能低下の予防 3) 高齢者の認知機能低下を予防する看護 (1) 認知症看護の原則と対応の実際	講義	認知症看護認定看護師 池田 貴子
15	10. 認知機能低下の予防 3) 高齢者の認知機能低下を予防する看護 (2) 認知症の予防と認知症高齢者の看護の実際 (3) 認知症高齢者と家族へのサポートシステム	講義	認知症看護認定看護師 池田 貴子
	終講試験	試験（評価）	単位認定者 久原 佳身

分野	専門分野	科目名 単位（時間）	成人・老年看護学方法論Ⅰ 1単位（30時間）	授業 形態	講義 演習	開講 時期	1年 後期
講師名 所属	濱野 智恵子 嬉野医療センター 診療看護師 木寺 沙樹 嬉野医療センター 看護師 川崎 恵梨 嬉野医療センター 看護師 森 佑太郎 嬉野医療センター 看護師 劔持 葉子 嬉野医療センター附属看護学校 専任教員 実務経験：看護師14年						
授業概要	慢性期にあり長期にわたり疾病のコントロールが必要な対象の理解と看護の特徴について糖尿病、関節リウマチ、心不全、肝硬変、慢性呼吸器疾患の看護を通して学ぶ。慢性期の特徴は臨床看護総論演習Ⅰで学習している。疾患についての病態、診断、治療については疾病論で学習している。看護の実際については教育と学習や成人・老年看護学概論で学習した成人教育理論、セルフケア、自己効力を想起しながら学ぶ。						
科目目標	1. 慢性期にあり長期にわたり疾病のコントロールが必要な対象とその家族の特徴を理解できる 2. 慢性疾患を抱え長期にわたり疾病のコントロールが必要な対象に必要なセルフマネジメント支援を理解できる 3. 慢性疾患に対する看護の実際を理解できる 4. 長期にわたり疾病のコントロールが必要な対象に対し必要な社会資源と他職種・多職種の連携・協働について理解できる						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [1] 成人看護学総論 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[6] 内分泌・代謝 医学書院 3. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10] 運動器 医学書院 4. 系統看護学講座 専門分野 成人看護学[11] アレルギー／膠原病・感染症 医学書院						
参考文献	糖尿病食事療法のための食品交換表 文公堂						
評価方法	詳細は別紙「評価計画」参照						
	筆記	○	レポート		口頭試問		授業態度・出席状況
学修に向けたメッセージ	専門基礎分野で学んだ知識を復習しておくことが前提である。看護の方法を覚えるだけでは科学的根拠に基づく実践にはつながらない。なぜその方法が必要であるかを考えながら受講してほしい。						
授業計画							
回数	講義内容				教授・学習方法		担当講師
1	1. 長期にわたり疾病のコントロールが必要な対象とその家族の特徴 1) 慢性疾患をもつ対象の特徴 2. 長期にわたり疾病のコントロールが必要な対象の看護 1) セルフケアとセルフマネジメント 2) セルフマネジメント支援の構成要素				講義		専任教員 劔持 葉子

2	3. 糖尿病をもつ対象のセルフケア支援 1) 糖尿病をもつ対象の特徴 2) 糖尿病をもつ対象のセルフケア支援の実際	講義	専任教員 劔持 葉子
3	(1) 薬物療法 (2) 食事療法 (3) 運動療法 (4) 合併症予防		
4	4. 糖尿病をもつ対象に必要な看護技術 1) 血糖測定 2) フットケア	演習	専任教員 劔持 葉子
5	5. 関節リウマチをもつ対象のセルフケア支援 1) 関節リウマチをもつ対象の特徴 2) 関節リウマチをもつ対象のセルフケア支援の実際	講義	専任教員 劔持 葉子
6	(1) ボディイメージの変化に伴う障害受容への援助 (2) 二次的障害予防のための支援 (3) 家族のサポートが得られるような関わり (4) 家族への支援		
7	6. 虚血性心疾患、心不全をもつ対象のセルフケア支援 1) 虚血性心疾患（狭心症）患者の看護 (1) 患者の体験とセルフケア支援 2) 慢性心不全患者の看護 (1) 患者の体験とセルフケア支援	講義	診療看護師 濱野 智恵子
8	6. 虚血性心疾患、心不全をもつ対象のセルフケア支援 3) 不整脈の患者の看護 (1) 不整脈出現時の検査 ①12誘導心電図（技術演習） ②症状観察とアセスメント (2) ペースメーカーを装着した患者のセルフケア支援	講義・演習	診療看護師 濱野 智恵子
9	7. 消化器系の疾患をもつ対象のセルフケア支援 1) 食道がん患者の看護	講義	看護師 木寺 沙樹
10	2) 胃・十二指腸潰瘍患者の看護		
11	3) 肝炎患者の看護 4) 肝硬変患者の看護 5) 肝細胞がん患者の看護		
12	8. 慢性呼吸器疾患をもつ対象のセルフケア支援 1) 慢性閉塞性肺疾患患者の看護	講義	看護師 森 佑太朗
13	2) 呼吸不全患者の看護 3) 肺炎患者の看護		
14	9. 腎不全をもつ対象のセルフケア支援 1) 急性腎不全の患者の看護	講義	看護師 川崎 恵梨
15	2) 慢性腎不全の患者の看護		
	終講試験	試験（評価）	単位認定者

			劔持 葉子
--	--	--	-------